

平成24年度 事業報告

岡山理科大学専門学校

建築と動物そして魚のスペシャリストを養成。学生、保護者、高等学校、地域、関連業界の皆様へ支持される学校を目指します。



「使命」

専門学校の使命は言うまでもなく、有為で即戦力となる卒業生を輩出することにあります。専門的な技術や知識の習得、検定や資格の取得をさせることと、

人としてバランスの取れた人材の育成に力を注ぐことを本校の「使命」とします。

「方針」

1) 「教職員の意識の確立」

全教職員が、教員としての自覚の高揚、資質の向上を図り、学生に対し専門知識や技術の教授はもとより、一般常識やコミュニケーション能力の教育ができるよう努めます。学生に満足いく教育を提供し、卒業後は社会で即戦力として活躍できる人材の育成を目指します。

2) 「進路開拓」

校長を中心に、学生の専門性が生かせる事業所にできるだけ多く足を運び、学生の希望に沿った就職先を開拓していきます。

3) 「安全・安心の学校づくり」

地域社会との交流の機会を増やし、地域の意見に耳を傾け、地域で育てて頂く学校づくりを目指します。また、学生のマナーやモラルの向上を図り、安全で安心な通学・学校環境を構築していきます。

岡山理科大学専門学校 校長 村岡 正

教育並びに施設の充実

■きめ細かい教育

チューター並びにサブチューターを中心とした教職員が学生個々を把握し、専門技術の習得はもとより、学生とのコミュニケーションを密にとり学習意欲の維持、メンタル面のサポート、就職活動の啓発等から満足度の高い学生生活送れるようサポートをしてきました。学生、保護者に対して専門教育の重要性、青年期の精神面や思考等について講演会も開催しました。

■産官学連携の教育

平成21年度に、真庭市と包括教育協定を締結しました。平成22年度には「温泉」をキーワードに動物看護の分野により、「温泉入浴の動物に対する効果」の研究や、建築学科においては「温泉街の活性化プラン（例）」の提案など自治体と専門学校の連携による教育を開始しました。温泉実験については、初年度は異常気象および研究の初歩段階であったため、特に夏場はデータにばらつきなどもありましたが、平成23年度における実験では、犬にもたらず温泉効果は入浴後に現れていることが確認でき、平成23年12月5日に研究の中間発表を行いました。今年度はさらに計測方法などを検討し、精度の高い実験を健康機器系企業と共同で行ないました。平成25年度も継続して展開する予定です。

岡山県および岡山市が開催するそれぞれの動物愛護フェスティバルに積極的に関与・参加し、動物愛護啓発運動に参画しました。

また、アクアリウム学科においては、企業との受託研究を積極的に展開し、各種の実験データから実用的な水生生物の飼育・繁殖を行いました。次年度も継続して行く予定です。

■カウンセラーの配属

従来、精神的な悩みを抱えた学生は岡山理科大学等が招聘したカウンセラーに相談をしていましたが、潜在的に悩みを抱えた学生も多く、本校に専門のカウンセラーを定期的に招聘し、学生並びに教職員の心の問題解決などのケアを行っています。今年度は、より一層利用し易くなるようカウンセリングが出来る日を増やしたことにより、35件のカウンセリングが行われ、有効に活用されました。

教職員の意識改革

■自己点検、自己評価 FD・SD

専任教員並びに非常勤講師対象に実施している授業アンケート結果を踏まえ、より良い授業が展開できるよう改善指導を行いました。

専任教員の授業担当時間を精査し、職位、校務分掌を考慮し均等化を目指し、また自己研鑽できる時間を創出するよう配慮しました。

事務職員の対応及び施設設備等についてアンケートを実施し、学生の満足度アップに繋げる改善を教育的考慮を加味し実践しました。

また、昨年度より教員・職員評価を実施し、業務および学校運営に生かしています。

■コスト意識

人件費、光熱水費、教育・研究用消耗品について有効活用、合理化、節約について事ある毎に啓発し、エコ教育に結びました。LED電球の使用や省

エネエアコンへの取り替えなどを計画しており、予算上の問題も考慮した上、平成25年度には実施する方向で進めています。

学科・コースの充実

■動物看護学科 3年制

高度医療に対応する動物看護師養成と動物看護師の国家資格化に対応するため、従来の2年制コースに加えて、3年制のコースを平成22年度から開始しました。

少子高齢化が進む昨今、家庭内でペットはコンパニオンアニマルとして家族の一員、時にはそれ以上の存在です。そのコンパニオンアニマルの健康、長寿を手助けする獣医師をサポートする幅広い専門技術と知識を備えた動物看護師を養成します。

また、この3年制コースの目的は、動物看護師の制度化に伴う看護師の公的資格化とともに、現在の動物医療界における高度医療への要望、食品メーカーや大動物分野等の小動物病院以外への職域の拡大、人と動物の関係を担う福祉分野のニーズにも対応します。職域の拡大を図り、ヘルパー2級を取得する実習を開始し、ダブルでの資格取得が可能となり卒業後、各分野で生かせます。

平成25年度に向けて

■新分野の学科創設準備

動物系の学科を立ち上げて10年を迎える節目の年でもありました。卒業生の各現場での活躍や新しい分野での今後の発展が期待されるペット業界ではありますが、景気低迷等の影響から苦戦を強いられました。

今後の岡山理科大学専門学校の繁栄を期して既存の分野、建築系、アクア系、動物系の連携を図り、これから更に充実した教育内容や資格取得に努めます。職域の拡大を図り、動物看護学科だけ

でなく、動物系全般に、ヘルパー2級を取得出来るように広げていきたいと考えています。

■学校周辺の地元を対象とした学校見学会

本校の教育内容を知って頂き、更なる理解・協力を得るため地元の方々を対象とした学校見学会等を実施しました。

近隣地区の中学生や小学生の授業研究も行っています。今年度も引き続き学校見学会を開催したことで、教育内容や施設などを多くの方々に伝え、教育の場を広げることができました。今年度は、2校の中学生が来校し、体験・見学をしました。

1年次12月の段階での進路希望調査書を基に1月より第一希望の分野を決定していきます。動物系においても一般企業を希望する学生は2月より直ちに就職活動を開始させ、満足度の高い企業への就職を目指すよう指導します。動物系専門職への就職は3月以降のインターンシップ実習により第一志望企業への内定獲得を目指しました。

また、学生の就職意識啓発と就職相談の充実を図るため、就職課とチューターが連携をとって就職活動支援を実施しました。就職状況は昨年よりアップし、97.6%でした。

学生募集

- (1) 資料請求者への積極的なアプローチ
- (2) 社会人の受験生増加を図る
- (3) 広報強化地域

就職活動支援

■就職活動ガイダンス

- 1年生： 7月 インターンシップの注意事項
- 10月 インターンシップの注意事項
- 11月 進路選択について
- 12月 情報収集と企業へのエントリー
- 3月 履歴書、面接について
- 2年生： 6月 内定お礼状の書き方

これまでの課外時間（5時限）を利用した就職ガイダンスに加えて、ホームルームの時間を利用したクラス単位での就職ミニガイダンスを随時実施し、きめ細かい就職活動支援を行う機会を設けました。特に、これまでは2年生を対象に行っていましたが、今年度は、1年生においても事前指導やキャリア教育を展開しました。

■就職活動支援

主な行事

| | |
|-----------------|--------|
| 4月 8日 | 入学式 |
| 4月11日 | 授業開始 |
| 7月18日 ～8月25日 | 夏季休暇 |
| 9月10日 ～14日 | 前期末試験 |
| 10月 1日 | 後期授業開始 |
| 12月22日 ～1月9日 | 冬期休暇 |
| 3月20日 | 卒業式 |

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成24年5月1日現在)

| 課程・学科名 | | 入学定員 | 入学者数 | 収容定員 | 在学者数 |
|-------------------|-------------|--------|------|------|------|
| 工業 専門課程 | 建築学科(昼間部) | 40 | 41 | 80 | 74 |
| | 建築学科(夜間部) | 20 | 10 | 40 | 22 |
| | 福祉住環境デザイン学科 | (募集停止) | — | — | — |
| | 計 | 60 | 51 | 120 | 96 |
| 商業実務 専門課程 | 映像情報学科 | (募集停止) | — | — | — |
| | 計 | (募集停止) | 0 | 0 | 0 |
| 文化・教 養専門課 程 | 動物看護学科 3年制 | 30 | 20 | 90 | 47 |
| | 〃 2年制 | 20 | 22 | 40 | 50 |
| | トリミング学科 | 40 | 46 | 80 | 88 |
| | ドッグトレーニング学科 | 40 | 55 | 80 | 98 |
| | アクアリウム学科 | 40 | 34 | 80 | 70 |
| | 計 | 170 | 177 | 370 | 353 |
| 文化・教 養 一般課程 | トリミング学科 | (募集停止) | — | — | — |
| | ドッグトレーニング学科 | (募集停止) | — | — | — |
| | アクアリウム学科 | (募集停止) | — | — | — |
| | 計 | (募集停止) | — | — | — |
| 合計 | | 230 | 228 | 490 | 449 |
| 専攻科 研究科 | 建築学科専攻科 | 10 | 7 | 10 | 7 |
| | 動物系総合学科研究科 | 10 | 4 | 10 | 4 |

(単位：人)

■卒業生数等一覧

(平成24年度)

| 区分 | 卒業生 | 就職希望者 A | 就職者 B | 就職率 B/A | 進学者 | 退学者・ 除籍者 | 休学者 | 留年者 ※ |
|------------|-----|------------|----------|------------|-----|-------------|-----|----------|
| 岡山理科大学専門学校 | 212 | 163 | 159 | 98% | 30 | 29 | 1 | 2 |

※ 修業年限を超えて在籍している学生数 (平成24年4月1日現在)

(単位：人)

| | |
|-------|---|
| 主な就職先 | 岡山市役所、(株)大本組、蜂谷工業(株)、エス・バイ・エル・カバヤ(株) 京都中央動物病院、井笠動物医療センター、ペットショップアミーゴ妹尾店(他6店舗) アダチペットショップ、島根県立しまね海洋館アクアス、のとじま水族園、その他129社 |
|-------|---|

■教職員数

(平成24年5月1日現在)

| 校長 | 副校長 | 教員 | 教員 計 | 事務職員 |
|----|-----|----|------|------|
| 1 | 0 | 12 | 13 | 12 |

(単位：人)

財務関係

■消費収支

(単位：千円)

| 年度 科目 | 24年度 決算額 | 前年度 決算額 |
|----------|-------------|------------|
| 学納金収入 | 382,492 | 348,573 |
| 補助金収入 | 318 | 342 |
| その他収入 | 4,829 | 26,810 |
| 帰属収入合計 | 387,640 | 375,725 |
| 基本金組入額合計 | △ 16,729 | △ 14,813 |
| 消費収入の部合計 | 370,911 | 360,912 |
| 人件費 | 221,914 | 295,243 |
| 教育研究経費 | 79,736 | 87,364 |
| 管理経費 | 29,818 | 35,193 |
| その他支出 | 1,607 | 3,193 |
| 消費支出の部合計 | 333,076 | 420,993 |

■施設設備整備（抜粋）

(単位：千円)

| 事業名 | 金額 |
|------------------------|-------|
| 1校舎2階講義室エアコン設備一式 | 1,500 |
| 小動物用マットヒーター1台 | 100 |
| 生物実習顕微鏡5台 | 700 |
| グラウンド内のプレハブ建替工事一式 | 1,500 |
| ウミガメの池ろ過器他（リースアップ） | 140 |
| 大型クーラーKDA-1000 1台（交換用） | 240 |
| 大型クーラーKDA-2000 1台（交換用） | 520 |